

2022連合中央女性集会

日時:2022年10月21日(金)
場所:Web参加

ジェンダー主流化で女性を意思決定プロセスに～平和で格差のない社会をめざそう!～をテーマに中央女性集会が開催され、webで参加しました。

冒頭、芳野友子会長より挨拶があり、井上久美枝総合政策推進局長より連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ1をもとにジェンダー平等実現のために労働組合が率先して取り組む必要性の講話があり、働く者すべての視点に立った働き方改革を行う必要性を学びました。

次に、佐藤千矢子毎日新聞論説委員による「『オッサンの壁』を壊すには～多様性と無意識のバイアス～」と題して、政治分野の女性進出、男性優位社会の大手メディア、なくならないハラスメント・差別についてご自身の体験を交えての基調講演があり、疑問に感じたことを言語化し、共通認識の形成、問題点を明らかにすることに対して労働組合は役割があることを認識しました。

続いてパネルトークセッションでは、まず本田一成武庫川女子大学教授より「クミジョ調査について」と題して、研究内容とともに「クミジョの壁・崖」についての問題提起を行った後、佐藤論説委員、本田教授、櫻田あすか副会長による①男女問題の格差、②政治分野における女性の参画、③連合の取り組みについて、のトークセッションが行われ、女性の働く環境の整備が行われてきて、まだまだ完璧ではないが結婚・出産をしても働きやすい職場が増えていることにより、今後女性参画推進の増加が期待できるのではないかと思います。それにはクミダンとの協力が必要不可欠です。

この集会で得たことを身近な仲間と共有し、労働組合で「ジェンダー主流化」を具現化することに、微力ながら貢献できるよう頑張りたいと思います。

【報告者:女性委員会 幹事 横田草子/フード連合】

2023年度・連合九州ブロック連絡会「女性会議」

日時:2022年12月3日(土)
場所:宮崎市ホテルメリージュ

2022年12月3日(土)に「2023年度・連合九州ブロック連絡会「女性会議」が宮崎県ホテルメリージュにて開催され、連合長崎女性委員会から1名、事務局から1名出席しました。

まず、本部代表として、連合本部井上総合局長から挨拶がありました。次に、本部提起「くらしをまもり、未来をつくる。～2023春季生活闘争方針スローガン～」連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ1等について提起がありました。2023春季生活闘争のジェンダー平等、多様性推進課題に関する取り組みについて、賃金要求、ジェンダー平等・多様性の推進について説明があった後、連合のこれまでの「男女平等参画」の歩み、構成組織、地方連合会における女性の労働組合の参画に関する調査、最後に今後の取り組みについて説明がありました。

次に、各地方連合会の女性委員会等でのこの1年間の取り

組みを報告しました。最後に、「ジェンダー平等に関する課題について」(討議の柱を中心に)をテーマに、質疑応答や、意見交換を行いました。

コロナ禍の制約がある中ですが、アンケート集約や、街頭行動等、各地方連合会それぞれ工夫して活動を行っており、参考になりました。また、職場や社会に真の多様性を根付かせるために、現状の課題や問題点、またそれを解決するためにはどうすればいいかを話し合いました。

九州各地より、22名が参加し、連合のこれからの取り組みを確認し、また、ジェンダー平等について深く議論しました。感染対策を十分に行い、充実した会議内容となりました。

【報告者:女性委員会 副委員長 西崎愛希/JP労組】

長崎県労福協「次世代育成セミナー」

日時:2023年2月4日(土)
場所:ホテルセントヒル長崎

2023年2月4日(土)、長崎市のホテルセントヒル長崎にて、長崎県労働者福祉協議会主催の「次世代育成セミナー」が開催されました。46人が参加し、連合長崎女性委員会からは2人が参加しました。

セミナーでは、まず中央労福協講師団の高橋均講師より「労働運動・労働者自主福祉運動 その理念と歴史を振り返る～労働金庫・全労済の誕生と労働組合・労福協の関係性を中心に～」と題した講演がありました。この講演では、労働運動・労働組合のはじまりから、労福協が生まれた背景や歴史、労働金庫と全労済の設立・誕生、そして労働組合と労働金庫・全労済の関係性の再構築について、その重要性を述べられました。労働金庫・全労済は、労働組合が自主的に作った協同組合であり、「客」と「業者」の関係ではないこと、ともに運動する主体であるからこそ、各単組の運動方針として労働金庫と全労済の利活用を推進し、組織の連帯強化を図っていることを改めて認識しました。

講演後、休憩を挟んでグループワークを行いました。講演に対する感想・意見を共有し、労働組合活動の構築について、人材育成・女性参画促進・組織率向上の観点から話し合いました。特に、今般のコロナ禍において、新規採用職員を中心に、職場での交流の機会が少ないことから、組織強化につながる第一歩として、どのような取組を進めていけばよいか議論しました。

労福協がどのような組織なのか分からない状態で参加しましたが、よりよい連帯社会を目指す、はたらく者の福祉運動の中心であることを学び、有意義な受講となりました。

【報告者:女性委員会 幹事 柳迫美咲/自治労】



「次世代育成セミナー」
グループワーク風景

3.8国際女性デー長崎集会

日時:2023年3月11日(土)

場所:長崎県勤労福祉会館 4階 合併会議室

2023年3月11日(土)、長崎県勤労福祉会館において「3.8国際女性デー長崎集会」を開催しました。3.8国際女性デーは1857年3月8日にニューヨークで女性労働者が低賃金・非人道的な労働条件への抗議行動を起こし、1908年に婦人参政権を要求したデモを起こしたことがきっかけとされています。1910年にコペンハーゲンで行われた国際社会主義会議で「女性の政治的自由と平等のために戦う日」と提唱したことから、同年「国際女性デー」と制定されました。1975年には国連によって国際婦人年が制定され、毎年3月8日には世界各国で記念行事や催しが開催されています。

今回は、山川菊栄氏ドキュメンタリー DVD「姉妹よ、まづかく疑うことを習え」を鑑賞しました。山川菊栄氏は大正・昭和時代の婦人運動家で、第二次世界大戦後労働省婦

人少年局の設置にあたり初代局長となった人物です。また、論壇で明快な論客として活躍した女性解放思想家、社会評論家です。山川菊栄氏の半生をたどりながら、彼女の思想と活動を語る女性たちが多数登場し、思想と活動、功績を知るだけでなく、親しみのわく人柄にも触れることができました。

終了後にいただいた感想のなかには、「女性の社会進出について、法に阻まれたりして多くの苦労が重なっていたことを知った。まず、資本主義の形態のなかで、男女の在り方を抜本的に見直す必要があると感じた。」等の感想をいただきました。女性参画の歴史を知ることで、これから先、女性が活躍していく社会づくりのためにはどうすればいいかを考えることができる貴重な時間となりました。

【報告者:女性委員会 副委員長 西崎愛希/JP労組】



第26期女性リーダー養成講座

日時:2023年5月12日(金)

場所:連合会館 2階203会議室

今回、「女性リーダー養成講座」に参加させていただき、非常に多くのことを学ぶことができました。

まず、いろいろな職種の方と交流し、情報交換をすることで、大きな刺激を受けることができたことは大きかったです。

その中でも、ある産別単組において、女性の採用がこの10年全く無く、産休・育休の整備が不十分な現状であることには驚きました。その参加者の方が、その先駆者として、これから整備していこうという姿に感心しました。ぜひ、

こうした若い人を支えていきたいと強く思いました。

次に印象に残ったものとして、「知識は力である。」ということです。

しっかりと調査し実態把握をすること、制度や政策を勉強すること、交渉時の説得の方法、次につながる言葉をひきだす戦略を身につけていくことの大切さを改めて考えさせられました。

このように、大変充実した中身の濃い2日間でした。

【報告者:女性委員会 事務局長 山坂紀代美/日教組】



連合「第26期女性リーダー養成講座」集合写真

連合長崎2023男女平等月間学習会

日時:2023年6月3日(土)

場所:長崎県勤労福祉会館 4階 合併会議室

2023年6月3日、長崎県勤労福祉会館にて「男女平等月間学習会」が開催されました。今回は、浄土真宗本願寺派僧侶の小岱 海(しょうだい うみ)さんを講師にお呼びして、「生きづらさとわたしたちができること」と題してご講演いただきました。小岱さんは、僧侶であると同時に、DV防止や性教育の普及、犯罪被害者の支援、不登校児童のサポートなど、社会活動に参加されています。

まずは、社会活動に参加するきっかけとなった学生時代の話から始まり、仏教の教えの中にも「生老病死」と生きていく苦難が書かれていること、時代が変わっても生きていく上での苦しみや悲しみがあることなどが、話されました。「生き方の話」「いのちの話」は、正解はないが、考えていかなければならない課題。「自分がマイノリティなのか、マジョリティなのか意識することで、考え方が変わる可能性がある」「違いを認めるためには、まずは対話が必要」「格差を是正するためには、弱者の側に立つことが大切」「困っている人

が助けてと声を上げるためには、社会の理解が必要不可欠」など、日ごろの生活の中で、生きづらいつと感じた時に、それを乗り越えるヒントになる言葉をたくさん頂くことができました。

【報告者：女性委員会 委員長 増本利恵/自治労】



◀菊永昌和
ジェンダー平等推進委員会
委員長あいさつ

講師：小岱 海さん▶



長崎労働局雇用環境・均等室に対する要請

日時:2023年6月19日(月)

場所:長崎労働局 8階 会議室

連合長崎ジェンダー平等推進委員会は6月19日(月)、長崎労働局雇用環境・均等室に対し、「女性の活躍とジェンダー平等・多様性推進の実現をめざして」要請書を提出しました。

連合長崎は、①「雇用創出と生活困窮者への支援」②「仕事と育児・介護、不妊治療等が両立できる就業環境の整備」③「女性と活躍とジェンダー平等で多様性を認め合う社会の実現」の3項目について長崎労働局雇用環境・均等室長に要請しました。



雇用環境・均等室長への
要請書の手交

2023連合平和行動in広島キャラバン隊

日時:2023年8月3日(木)~6日(日)

場所:長崎市~連合佐賀~連合福岡~広島市

2023連合平和行動in広島にキャラバン隊として参加しました。8月3日~8月6日までの日程で、連合長崎からは4名が4年ぶりにキャラバン隊として広島をめざしました。

8月3日の出発式の後、街宣しながら長崎から広島まで移動しました。広島市内では平和学習として、原爆資料館の見学などを行いました。原爆資料館では様々な資料を見学し、およそ14万人が命を落とした原爆の悲惨さを改めて感じました。

その後、連合広島の青年委員会が中心となって企画された「被爆路面電車 乗車学習会」に参加しました。原爆の被害を受け、今なお営業用車輛として使用されている路面電車に乗って沿線の被爆建物や遺構をめぐるしました。

終了後、被爆78年「連合2023平和ヒロシマ集会」に参加の後、広島平和祈念公園原爆ドーム前にて「連合・原爆死没者慰霊式」に参加しました。最終日は原爆投下の時間に合わせて広島市立大学構内にて「平和の鐘」の打鐘式に参加しました。

長崎と同じ被爆地の広島ですが、地形や被害状況など様々な違いを感じました。戦争の悲惨さ、平和の尊さを改めて学ぶことができた貴重な時間となりました。被爆地長崎に住むものとして、核兵器廃絶に向けてこれからも小さなことから取り組んでいきたいと改めて感じました。

【報告者：女性委員会 副委員長 西崎愛希/JP労組】



連合長崎平和キャラバン隊出発式 市役所前広場にて

役員紹介

- ①役職：氏名
- ②産別(単組)
- ③趣味
- ④一言

- ①委員長：増本 利恵
- ②自治労
- ③コロナも落ち着いてきたので、そろそろ旅行したい!
- ④みんなで楽しく活動しましょう!!

- ①副委員長：西崎 愛希
- ②JP労組
- ③ダンス、旅行、絵を描くこと
- ④女性が活躍できる環境づくりのための活動のお手伝いができればと思います。様々な業種の方と活動ができるのでとても楽しいです!

- ①事務局長：山坂 紀代美
- ②日教組
- ③フィットネス
- ④初めての活動ですが、他の職場の様子など知ることができて、勉強になることが多いです。微力ですが、頑張ります。

- ①幹事：柳迫 美咲
- ②自治労
- ③動画視聴、音楽鑑賞
- ④他業種からも学び、楽しみながら活動していきたいです。よろしく願いいたします。

- ①幹事：東 由美
- ②基幹労連
- ③打楽器演奏
- ④他職種の方と意見交換することで新しい発見があり楽しく活動しています。
女性が「かがやく」職場環境作りに貢献できるよう頑張ります。
よろしく願いいたします。

- ①幹事：久保田 李奈
- ②電力総連
- ③美味しいもの探し、美味しいもの巡り旅
- ④女性委員会を通して、様々な方と交流させていただき、発見成長の日々です。
これからも楽しく活動しながら、学んでいきたいと思っています!

- ①幹事：横田 草子
- ②フード連合
- ③カフェ巡り、映画鑑賞
- ④職場では出会えない方々と楽しく活動でき、単組では経験できない事もあり勉強になります。

- ①幹事：山口 明子
- ②全労金
- ③カフェ巡り
- ④少しでもみなさんのお役に立てるよう、色々な職域の方と交流を深めながら楽しく活動していきたいです。
※2023年4月から小椋幹事と交代



左から 久保田幹事 横田幹事 西崎副委員長
増本委員長 柳迫幹事 小椋幹事

平和の泉清掃 7月22日(土)



万灯作成風景 7月29日(土)

